

2023年4月14日

各位

三井住友信託銀行株式会社

**株式会社ウィズ・パートナーズが運用する
ヘルスケア New プラットフォーム・ファンドへの出資について**

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、ヘルスケア・プラットフォーム企業へ投資を行うプライベートエクイティ・ファンドであるヘルスケア New プラットフォーム・ファンド投資事業有限責任組合(以下「HNP ファンド」)に有限責任組合員(Limited Partnership、以下「LP」)として出資しました。

1. 背景

教育や所得格差、アンメットメディカルニーズ(有効な治療方法が未確立の疾病)など、さまざまな要因により適切な医療にアクセスできないことが社会的な課題となっていますが、医薬品の開発コストが年々高騰していることが一因とされています。

製薬業界では、医薬品の開発コストを抑えるため、医薬品開発におけるプロセスを垂直統合モデルから、アウトソースを活用する水平分業モデルへの転換が求められています。

2. 本件の概要

(1) ファンド概要

ファンド名称	ヘルスケア New プラットフォーム・ファンド 投資事業有限責任組合
運用会社	株式会社ウィズ・パートナーズ
投資対象	ヘルスケア・プラットフォーム企業

(2) 運用会社概要

HNP ファンドの運用者である株式会社ウィズ・パートナーズは、東京を拠点に成長投資やグローバルマクロ投資などのオルタナティブアセットを主体とする独立系投資運用会社です。ヘルスケア分野に加え、情報技術・人工知能などテクノロジー分野にも精通しています。また、インパクト志向金融宣言(※1)にも署名しており、投資先企業の発展を通じて、財務的リターンと並行してポジティブで測定可能な社会的および環境的インパクトを同時に生み出すことを追及するインパクト投資も行っています。

HNP ファンドは、武田薬品工業株式会社の創薬プラットフォーム事業を継承して事業を開始した国内初のヘルスケア・プラットフォーム企業である「アクセリード株式会社(※2)」や、メッセンジャーRNA 医薬品およびワクチンの原薬・製剤 CDMO (医薬品製造受託開発) 事業を展開する「株式会社 ARCALIS」等、ヘルスケアの新しいプラットフォーム企業への投資を行っています。

3. 当社の役割

当社では、社会課題解決に向けた挑戦・取組を資金面からサポートすべく、2030年に向けて、5,000億のインパクトエクイティ投資の取り組みを進めています。これまでもライフサイエンス分野のLP出資を行うなど、当社のお客さまに対し、当該分野での協業や新たな投資機会の創出に取り組んできました。本出資を契機にこれらの活動をさらに強化するとともに、日本発のグローバルなヘルスケア・プラットフォーム企業の成長を支援することで、「アンメットメディカルニーズ(有効な治療方法が未確立の疾病)」という社会課題の解決や、国内における創薬エコシステムの発展により一層貢献していきます。

(※1) インパクト志向金融宣言

金融機関の存在目的は包括的にインパクトを捉え環境・社会課題解決に導くことである、という想いを持つ複数の金融機関が協同し、インパクト志向の投融資の実践を進めて行くイニシアティブ (<https://www.impact-driven-finance-initiative.com/>)

(※2) アクセリード株式会社 (<https://www.axcelead-hd.com/>)

世界最高水準の医薬品創出ヘルスケア・プラットフォーム企業群を有する持株会社です。武田薬品工業株式会社の創薬プラットフォーム事業を継承して事業を開始した国内初の創薬ソリューションプロバイダーである Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社 (<https://www.axcelead.com/>)、RNA 医薬品に特化した CDMO 事業を展開する株式会社 ARCALIS (<https://corp.arcalis.co.jp/>)、株式会社日立ハイテクから一部事業譲渡を受けて設立し、創薬のあらゆるプロセスのデジタル化を推進することで創薬効率を 100 倍効率化する創薬デジタルプラットフォームを開発する株式会社 A-Digital、次世代経皮薬物デリバリー技術をもとに医薬品開発を行っている米国サンディエゴの PassPort Technologies, Inc. を傘下に有しています。

以上